

---

# 百合部！

ミルクプリン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

百合部！

### 【コード】

N9930X

### 【作者名】

ミルクプリン

### 【あらすじ】

百合部。主に百合が大好きな部活。そんな部活にいる少女三人の物語。

## プロローグ

正面には銀行強盗犯五人と人質。

そして、銀行の周りには警察多数。

今、危険な状況の中にいる。

『織、警察は煙玉を使った後、正面と後面から強行突破してくるらしい。あとは分かっているよね？』

『分かっているわよ。警察たちが来る前に、私と彩矢が銀行強盗犯の前に出て披露すればいいんでしょう？』

『その通り。じゃあ、健闘を祈る』

無線機からそう告げてきたのは、百合部部长である一之瀬こまり。彼女は女の子たちがいるだけで興奮してしまう百合好きで、少し変態が混じったおバカな子である。

どうして私がこまりから命令を受けているのかというと、今から二時間前に遡る。

私はいつものように部室でコーヒーを飲んでいると、突然、こまりが大きな声を出してきた。

「これだ！」

こまりのことだ、また下らないものでも見つけたのだろう。

「何よ」

あまり興味なさげに、こまりのほうを見てみると、今日の新聞紙を指さしていた。

新聞の一面には『誘拐犯逮捕！ 人質とされたAさんも無事保護』と書かれていた。

「これがどうしたんですか？」

後から首を出してきたのは 百合部部員である笹島彩矢。大人しい子で、読書するのが好きな子だ。どこから見ても、アニメや漫画にいそうな文学少女のように感じるけど、実際は違うらしい。

「最近はどういった、物騒な事件が起きてるでしょ。殺人事件とか

誘拐犯とか。どうして平和にならないのか分かる？」

「ええと、今の状況がつまらないとか？」

彩矢は真面目に答えた。

「そう。あとは、イライラしてしたとか、恨み、憎しみ。誘拐犯なら子供好きとかね。そういった事件が起きるから、日本は平和にならない」

「つまり、何が言いたいのよ？」

真剣に話していくこまり。

その表情は自信に満ち溢れていた。

「つまり、この日本を平和にすれば、厄介な揉め事は起きないってこと」

「平和にするっていったって、無理に決まってるでしょ。私たち民間人には何もできない」

何か案でもあるのか、こまりは高笑いした。

「ふっははは、それがあるの。私たちにしかできない特別なことがそれはつまり百合と関係があるというのか。」

百合部は、こまり、織、彩矢の三人しかいない。

この三人で日本を救うとなると、共通のあれしかないだろう。

「それって何ですか？ も、もしかして、皆で警察官に?!」

あたふた、少し泣きそうになりながら、彩矢は言った。

「違う。私たちがすることは、百合！ つまり、百合で日本 いや、世界を救うの」

その瞬間、辺りはシーンとなった。

みんな、意味が分からず、どうして百合部に入部したのだろう。

この部長は大丈夫か、とでもいうような目をしていた。

「あの一っいいい、こまり」

「何？」

「もちろん私たちは百合部よ。でも、どうして百合部が世界を救わなきゃいけないのよ。事件を解決するのは、百合部じゃなくて、警察の仕事。そうでしょ？」

織は正論を言ったつもりだ。

事件を解決するのは警察の仕事。

そして、世界を救うのも百合部ではない。

「そうだけど、私たちの百合があれば、みんな心を許すと思うの。

ほら、よくあるでしょ。可愛い動物が出たら、みんな心が開いて癒されるってやつ。それを百合部がすれば、みんな心が豊かになり犯罪者の隙が出る。そこを警察たちが狙って取り押さえるの。どう？

いい考えだと思わない」

「つまり、こまりが言いたいの は 百合は世界を救う」

「その通り。だから、今すぐに事件を探しにレッツゴー」

百合部のドアを開け、こまりは出て行ってしまった。

その後、気分があまり乗らないまま、彩矢と織が部室から出た。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9930x/>

---

百合部！

2011年10月28日17時03分発行